

2022年環境経営レポート

(対象期間:2022年1月～2022年12月)

建築ボルト・金物総合メーカー

株式会社 ナニワボルト

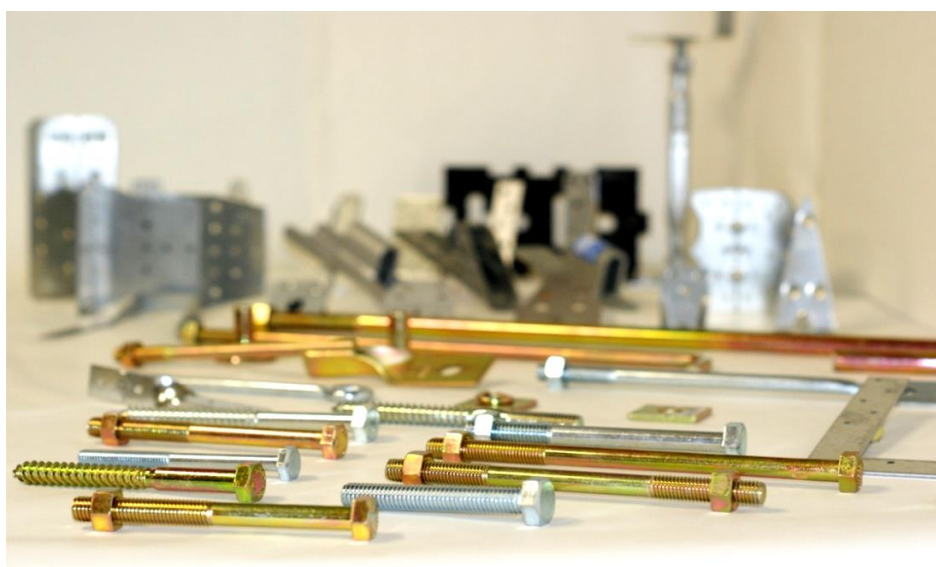


大阪市西区川口4丁目9-11

TEL:06-6582-7280

FAX:06-6582-7256

<http://www.naniwa-bolt.co.jp>



エコアクション21
認証番号0001615

発行日： 2023年4月26日

— 目次 —

I	□環境経営方針	P1
II	□会社概要	P2～3
III	□環境配慮製品の販売促進 プロイズボルト	P4～5
IV	□主な環境負荷の実績	P6
V	□環境経営目標及びその実績	P6
VI	□環境活動の取り組み結果とその評価、 次年度の取り組み内容	P7～9
VII	□環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	P10
VIII	□代表者による全体評価と見直しの結果	P11

□ごあいさつ

20世紀、私たちは大量生産、大量消費により快適な生活を追及してきました。そのことにより、限りある資源を浪費し、CO₂をはじめとする大量の、汚染物質により地球の生態系のバランスを崩してしまいました。

私たちが、今までしてきたことは、遠い将来に影響があるだろうとしか、考えず環境保全の行動をなおざりにし、大変な悪影響が、もうすぐそこまで迫ってきていることに気づきませんでした。ここ1～2年でこのことを文献、報道等により認識することとなり、環境保全のため私たちは、自分たちのできる行動を早急にしなければならないことを、痛感いたしました。

私たちは、環境保全の行動であるエコアクション21の考えに賛同し、社員一同、その方針に従って地球環境保全のための結果を、残していきたいと考えております。

代表者 秦 光明

I □環境経営方針

株式会社 ナニワボールト 環境経営方針

I. 基本理念

地域における、私たち人間の生活活動が自然の浄化作用を超えたため様々な所で深刻な環境問題が起こってきています。これを人間1人1人が再確認する事により、次の世代を考え地球全体の環境はもとより少しでも地域の環境を保全していける様、企業活動の主体の一つとして環境汚染防止と継続的改善活動に取り組んでいきたいと考えております。

II. 基本方針

1. 環境についての法令、条例、規則等を遵守する。
2. 環境への取り組みとして特に次の事項に留意します。
 - 二酸化炭素削減の為、省エネルギー化を実現し地球温暖化防止に貢献する。
 - ・電力使用量の削減に努める。
 - ・車両燃料の削減に努める。（車両のエコ化を進める）
 - 廃棄物の削減に努める。
 - 水使用量の削減に努める。
 - 環境配慮製品の販売を促進する。
3. 全従業員へ環境経営方針を周知し、環境意識の向上に努めます。

制定日： 2009年3月22日

改定日： 2022年6月30日

株式会社 ナニワボールト
代表取締役 秦 光明

Ⅱ □会社概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社ナニワボールト

代表取締役社長 秦 光明

(2) 所在地

本社・工場

〒550-0021 大阪市西区川口4丁目9-11



社屋正面

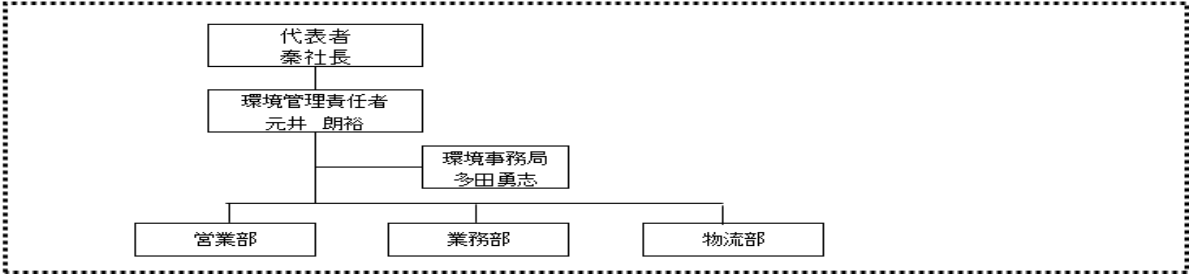


物流倉庫上



物流倉庫(社屋東面)

(3) 環境経営システム組織図



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付) ・従業員に対する教育訓練の実施 ・特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト、訓練を実施、記録の作成 ・特定された項目の手順書作成 ・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の運用管理 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

環境管理責任者名および担当者連絡先

環境管理責任者	元井朗裕	TEL:06-6582-7280
環境事務局	多田 勇志	

(4) 事業の規模

製品出荷額	23.9億円/年
主要製品生産量	4,780トン
	本社・工場
従業員	31名
延べ床面積	2,595㎡

(5) 事業年度 9月～8月(環境経営レポートの対象期間:1月～12月)
(6) 事業内容

建築、土木用ボルト及び建築金物の製造販売

(7) 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名:株式会社 ナニワボルト
(本社・工場)

活動:建築、土木用ボルト及び建築金物の製造販売

事業内容

建築、土木用ボルト及び建築金物の製造販売



ネジの町、九条で創業以来50余年、多岐にわたるネジ、ボルト、金物製作に携わってまいりました。その経験を生かし現在では、木造住宅に使用する構造用金具の製造、販売に力を入れております。時代と共に変わり行くお客様のあらゆるニーズに対応すべく幅広い金物を在庫し、一本一枚から必要な物を必要な場所へ間違いなくお届けする事をモットーとして日々努力しております。

取扱い商品一覧

弊社製造品 (Zマーク六角ボルト、ナット、両ネジボルト、ラグスクリュー)



Zマーク金物



オリジナル金物



ボルト・金物類



建材製品



耐震補強金物



線材製品



Ⅲ □環境配慮製品の販売促進 プロイズボルト



3層皮膜で高い防錆・防腐力を発揮！

環境配慮の家づくりへ、増大をつづける導入実績。

金属のメッキに現在も使われる六価クロムなどの有害物質を使わない、独自の金属表面処理技術の開発に取り組んできたカネシンは、三層皮膜による高い防錆・防腐性能を発揮する新技術「プロイズ」の開発に成功しました。錆の原因となる物質を化学的に除去、各層の密着性を高め耐食性を向上させ、木酸や薬品に強く、強く、他の金属との接触による腐食を抑制する新技術です。当社におけるプロイズの処理量は年々増え、配慮した家づくりに大きく貢献しています。

プロイズの皮膜モデル



アクリル樹脂系高耐食コーティングにより自由なカラーリングができます。

ベース処理により、錆発生の原因となる物質を除去し表面焼成層と亜鉛層を強固に結び付けます。

亜鉛の犠牲防食作用を利用し、耐食性を向上させ、傷等による素材の腐食を防ぎます。

プロイズの特徴

1. 環境にやさしい

六価クロムをはじめとする有害物質を含まないため、環境にやさしい表面処理技術です。

2. 優れた防錆・防食効果

錆の発生を引き起こす物質を科学的に除去するとともに、各層の密着性を高めることで耐食性を向上させました。

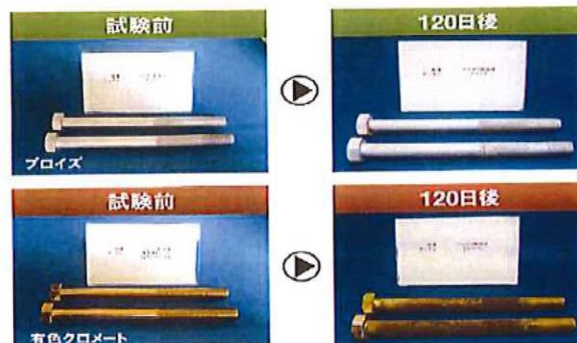
また、木酸による腐食を制御する効果もあります。

3. 優れた耐薬品性

薬剤が注入された防腐処理木材といっしょに使用しても製品に影響しません。

4. 異種金属接触腐食に効果的

異なる金属が接することで発生する腐食を抑制します。



Ⅳ □主な環境負荷の実績		本社・工場	本社・工場	本社・工場	本社・工場	本社・工場
項 目	単位	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂ /年	* 92,078	* 88,836	* 91,866	86,405	87,292
廃棄物排出量	kg/年	15,645	17,278	16,194	14,195	12,801
一般廃棄物循環資源量	kg/年	4,739	4,965	4,844	4,954	4,853
一般廃棄物焼却量	kg/年	1,086	813	780	751	688
産業廃棄物排出量	kg/年	9,820	11,500	10,570	8,490	7,260
総排水量	m ³ /年	231	228	228	224	223

*購入電力の二酸化炭素排出係数:0523kg-CO₂/kWh

*化学物質の使用はありません。

Ⅴ □環境経営目標及びその実績

項 目 \ 年 度		基準年度	2022年		2023年	2024年
			(目標)	(実績) 目標対比	(目標) 基準年度比	(目標) 基準年度比
電力の省エネ	kg-CO ₂	38,788	38,013	37,573	37,819	37,624
	基準年度比	2018年	-2.0%	-1.2%	-2.5%	-3.0%
車両燃料の削減	kg-CO ₂	52,697	51,643	49,719	51,379	51,116
	基準年度比	2018年	-2.0%	-3.7%	-2.5%	-3.0%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	91,485	89,656	87,292	89,198	88,740
一般廃棄物の削減 (循環資源量含む)	kg	5,825	5,709	5,541	5,679	5,650
	基準年度比	2018年	-2.0%	-2.9%	-2.5%	-3.0%
産業廃棄物(木ごみ・廃プラ)の削減	kg	10,010	10,010	7,260	10,010	10,010
	基準年度比	2014年	維持	-27.5%	維持	維持
水道水の削減	m ³	231	226.4	223	225.2	224.1
	基準年度比	2018年	-2.0%	-1.5%	-2.5%	-3.0%
環境配慮製品の販売を促進 (*1) (プロイズボルト) *Ⅲ参照	円	4,272,960	—	32,237,600	—	—
	基準年度比	2011年	—	—	—	—

(*1)環境配慮製品の販売を促進

・現在、弊社のお客様(特定の1件)の先のお客様が使用されているのが大半で、その数値に直接関与(営業)することが困難で、数値は参考とし取組活動を目標とする。

VI □環境活動の取り組み結果とその評価、次年度の取り組み内容

◎よくできた ○できた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	「評価結果」と「次年度の取組内容」	
電力による二酸化炭素排出量の削減		評価結果	次年度取り組み内容
①不要箇所の消灯の励行	△	目標達成出来ました。引き続き全従業員に目標達成手段を周知徹底して行きます。 数値目標:達成 (-1.2%)	左記の取り組み内容①・②・③・④・⑥の継続。
②空調機の定期的な清掃	○		
③照明器具の定期清掃	△		
④NO残業DAYの実施	△		
⑤省エネルギー型照明器具への切り替え	△		
⑥残業時間の短縮	○		

自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減

①エコドライブ (エコドライブ10のすすめ参照)	○	環境管理責任者の下、目標達成手段に取り組み、目標を達成する事が出来ました。 数値目標:達成 (-3.7%)	左記の取り組み内容①・②・③・⑤・⑥の継続。
②適正な積載量の配車	○		
③タイヤの空気圧、確認	○		
④配送ルート見直しの強化	△		
⑤自社配達便の見直し	△		
⑥営業ルートの見直し	○		

一般廃棄物の削減

①印刷前の確認の徹底	△	目標達成出来ました。来年は本格的にペーパーレス化に取り組みます。 数値目標:達成 (-2.9%)	来期は左記の取り組み内容①・②・③・④・⑤・⑥・⑦を継続。
②コピーミスの防止	△		
③スキャンの活用	○		
④一般ゴミになるもの持ち込まない運動	△		
⑤書類、1枚ベスト運動	△		
⑥ペーパーレス化	○		
⑦裏紙の再利用	△		

産業廃棄物(木ごみ・廃プラ)の削減

①木枠強度の問題があり、木枠量の削減が困難 な為、現状維持	○	適正な処理をした。 目標は達成出来ました。 数値目標:達成 (-27.5%)	来年も適正な処理を徹底します。
②廃プラ:輸入品についてくるラップがメイン。 輸入品は発注量の調整が困難な為、 現状維持	○		

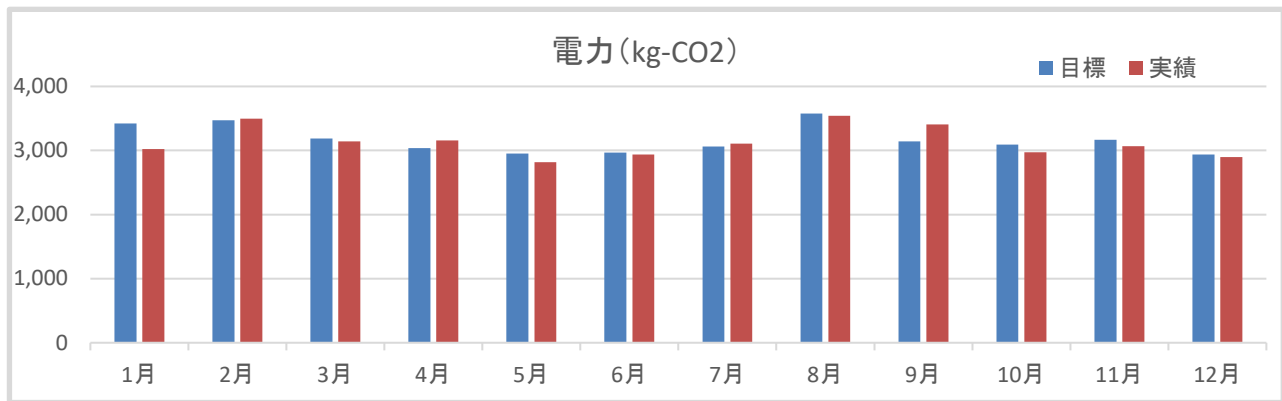
水道水の削減

①再度水量の見直し	○	目標達成出来ました。 数値目標:達成 (-1.5%)	来年も左記の取り組み内容①・②・③・④・⑤の継続。
②節水の励行	△		
③水やりの見直し	○		
④漏水を定期的に点検	○		
⑤社内での洗車を最小限に抑える	△		

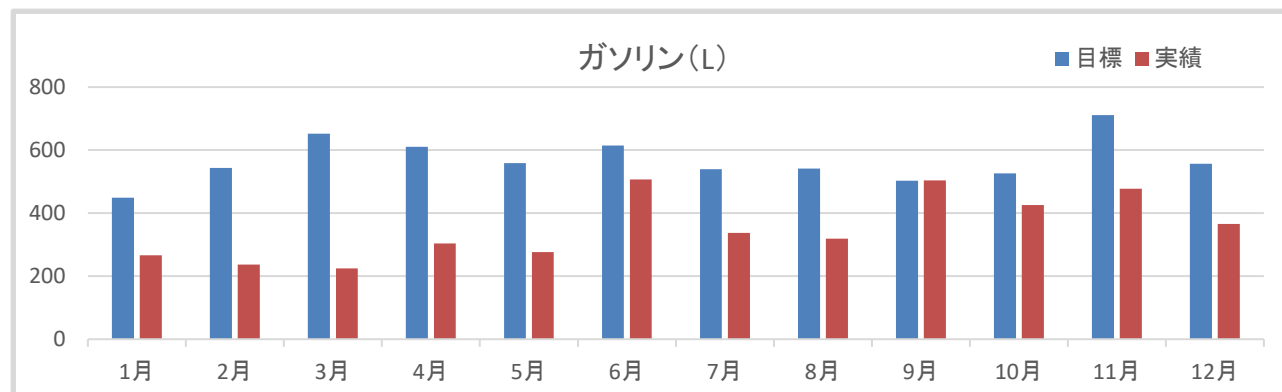
製品への環境配慮

①販売先を増やす	×	引き続き販売強化して行きます。	来年も左記の取り組み内容①・②・③・④の継続。
②新規取り扱い店拡大	×		
③一般ユーザーへの販売	×		
④プロイズ製品のばら売り等を推進	×		

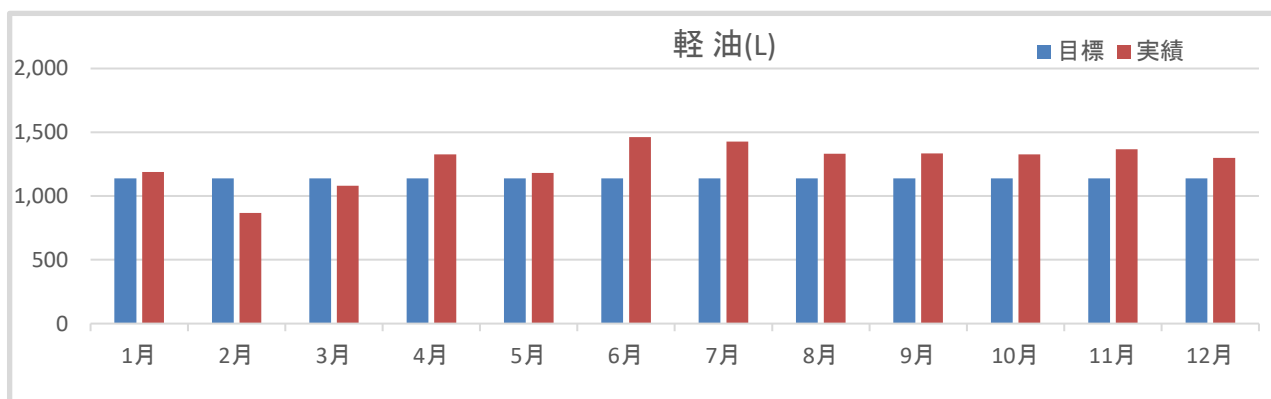
2022年度 環境目標/実績



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
目標	3,421	3,473	3,189	3,038	2,951	2,966	3,060	3,579	3,142	3,090	3,166	2,937
実績	3,023	3,496	3,144	3,156	2,819	2,938	3,109	3,541	3,407	2,973	3,067	2,900

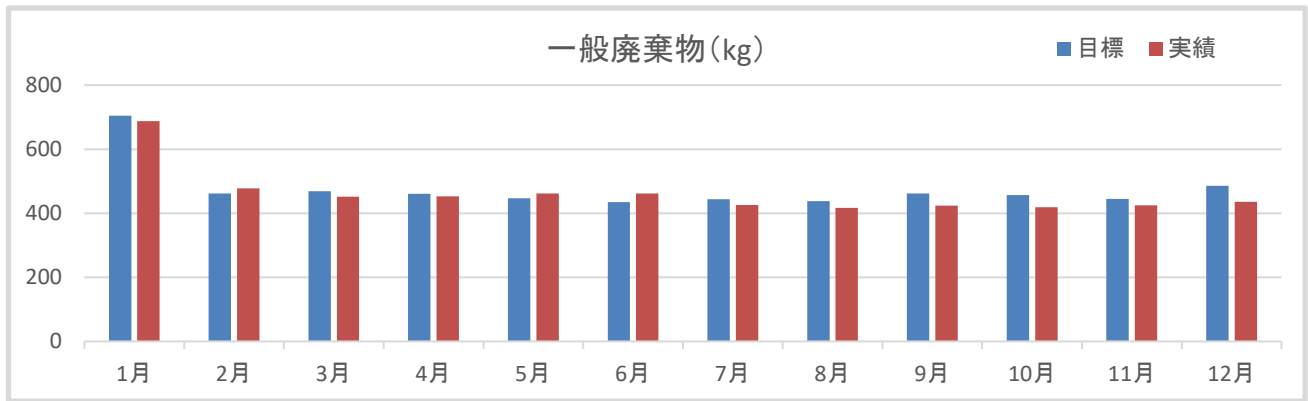


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
目標	449	544	652	611	559	614	539	542	503	526	711	557
実績	266	237	225	304	276	507	337	319	504	426	478	366

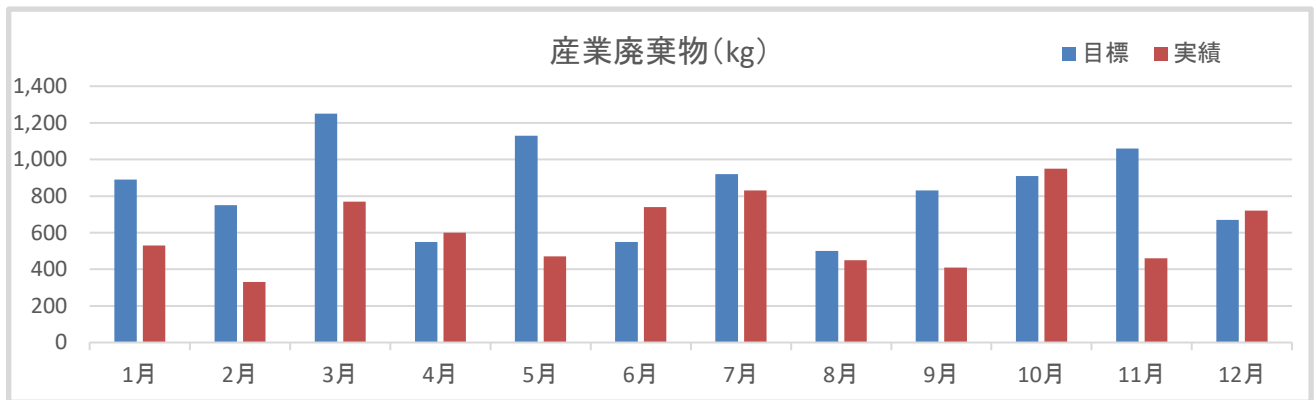


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
目標	1,138	1,138	1,138	1,138	1,138	1,138	1,138	1,138	1,138	1,138	1,138	1,138
実績	1,189	868	1,081	1,326	1,180	1,462	1,426	1,331	1,335	1,326	1,367	1,299

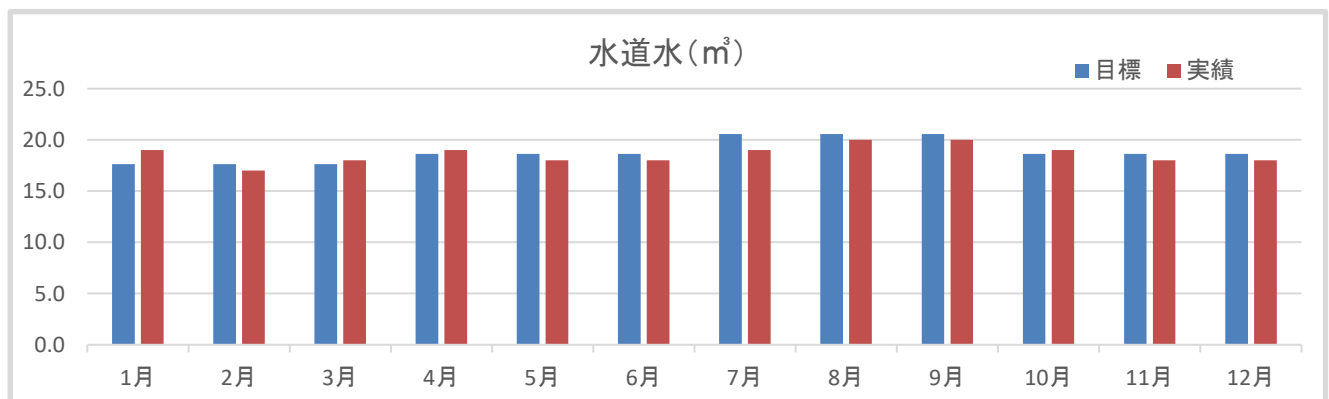
2022年度 環境目標/実績



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
目標	705	462	468	461	447	435	444	438	462	457	445	486
実績	687	478	452	453	462	462	426	417	424	419	425	436



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
目標	890	750	1,250	550	1,130	550	920	500	830	910	1,060	670
実績	530	330	770	600	470	740	830	450	410	950	460	720



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
目標	17.6	17.6	17.6	18.6	18.6	18.6	20.6	20.6	20.6	18.6	18.6	18.6
実績	19.0	17.0	18.0	19.0	18.0	18.0	19.0	20.0	20.0	19.0	18.0	18.0

VII □環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規制等の順守状況の定期評価の結果、環境法規制等の違反はありませんでした。

また外部からの環境に関する苦情、訴訟等はありませんでした。

また関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される施設等・遵守すべき事項	遵守評価
消防法（少量危険物取扱）	保管量、保管状態1/5未満以下を維持	遵守
道路運送車両法 道路交通法 自動車NO _x ・PM法	・車両の点検及び、整備検査 ・積載量及び法定速度の遵守 ・排気ガス規制に適合した自動車の使用	遵守
自動車リサイクル法	自動車 各車両購入時、確認。	遵守
廃棄物処理法	可燃物、不燃物 産業廃棄物：木くず・廃プラ 大阪市の許可書で確認。 マニフェストで確認	遵守
フロン排出抑制法	業務用空調機	遵守

VIII □代表者による全体評価と見直し・指示

今年も前半コロナ禍での取り組みとなりましたが、鉄の値上げ、営業の取り組み含め、売上前年対比7%UPにすることが出来、EA21も全従業員が一丸となって目標達成手段に取り組み、目標を達成する事が出来ました。

今年は新しい動きとして、コロナ渦で大阪を中心にした営業活動により、営業車フィット、デミオから配達が出来るバネット2台を導入。

またRIDOC (FAX送受信のペーパーレス化)を導入し、半年で44,895枚(前年差異)となりコピー用紙の削減をすることが出来ています。今後も目標達成に向け全従業員で出来る事を確実に取り組んでいきます。

問題点としてコロナ前と後では大幅に動きが変化しました。配達増加＝ガソリン使用量増加、ペーパーレス化など。よってコロナ前の基準値の見直しが必要だと感じ電力、自動車燃料、一般廃棄物に関して2022年7月～12月でデータを取り、その平均値を2023年の基準値にするよう指示を出しました。

＜見直し・指示＞

環境経営方針	変更なし ☒	変更あり ☐
環境経営目標・計画	変更なし ☐	変更あり ☒
実施体制他	変更なし ☒	変更あり ☐